

平成30年7月6日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

出水による工事現場設備の流出について【第三報】

～ 本日の最終報告 ～

新丸山ダム建設中の転流工事において、平成30年7月6日の梅雨前線豪雨による出水により、工事現場の仮設設備(防音壁)が一部倒壊し流出した恐れがあることから、監視を続けていますが、本日17:00現在、下流への流出は確認されていません。

明日は陸路より、確認を行う予定です。

監視の状況：「別添」参照

明日の予定：陸路より、丸山ダム下流から兼山ダムまで巡回し、流出物の有無について確認を行う予定です。

流出物が確認された場合には流出物の回収に努めます。

流出物内容：鋼製壁(高さ7.0m 延長約75m)



- 解禁 指定なし
- 配布先 美濃加茂市政記者クラブ 可児記者クラブ
- 問い合わせ先

(新丸山ダム)国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

調査課長 栗山 康弘

電話 0574-43-2780(代表)

監視位置：丸山大橋、蘇水峡橋、八百津大橋、八百津橋、稲葉橋、兼山ダム

監視時間：平成30年7月6日 6:00～17:00

監視人員：各1名（計6名）

